

受検番号
氏名

注 意

一 問題は、表と裏にあります。
二 答えは、すべて解答欄に記入しなさい。

表 合 計

一 次の文章を読んで、1～7の問いに答えなさい。

合 計

二次の文章を読んで、1～7の問いに答えなさい。

三次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

これも今は昔、ある僧、人のもとへ行きけり。酒など勧めけるに、氷魚こひしはじめて出で来たりければ、あるじあ珍しく思ひて、もてなしけり。あるじ用の事ありて、内へ入りて、また出でたりけるに、この氷魚こひしの、殊ことの外ほかに少なくなりたりければ、あるじ、いかにも思へども、いふべきやうもなかりければ、物語し居たりける程に、この僧の鼻より、氷魚の一つ、ふと出でたりければ、あるじ怪しう覚えて、「その鼻より氷魚の出でたるは、いかなる事にか」といひければ、取りもあへず、「この比くらの氷魚は、目鼻より降り候まきひらなるぞ」といひたりければ、人皆、はと笑ひけり。

(「宇治拾遺物語」による)

【注】 *氷魚…：からだが氷のように透き通っている鮎あゆの稚魚

*殊の外…：思いのほか

*降り候なるぞ…：「降ってくるものですよ」の意

1 思ひて やうも を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

①
②

2 A～Dの 部のうち、主語が他と異なるものを、一つ選んで記号を書きなさい。

3 いかにも思へども について、そのときのあるじの行動を次のようにまとめた。「Ⅰ」「Ⅱ」に適する内容をそれぞれ書きなさい。

家のあるじは戻ってくると、「Ⅰ」ことに気付いたが、あえて見て見ぬふりをして、「Ⅱ」ことまではしなかった。

Ⅱ	Ⅰ

4 人皆、はと笑ひけり について、次の問いに答えなさい。

(1) 人々ほどのようなことについて笑ったのか。解答欄にしたがって現代語で書きなさい。

あるじが、「

「ことについて質問したのに対して、

僧が、「

「という返答をしたこと。

(2) 人々は、僧のどのような点をおもしろく感じたのか。「a」「b」に当てはまる内容として最も適切なものを、それぞれア～エから一つずつ選んで記号を書きなさい。

あるじの自然な応対に比べ、僧が「a」様子で、「b」言い訳をした点をおもしろく感じた。

ウア ^{〔a〕} 悪びれず平然とした エイ 信仰心の厚い
 激しく取り乱した 身分にふさわしい

ウア ^{〔b〕} 根拠のはっきりした エイ 以前とは異なった
 筋道の通らない 予想通りの